



ほ てつ し か
補綴歯科 へようこそ

編集 ● 公益社団法人 日本補綴歯科学会



おもな内容

- うまくかめない、かむと痛い
- 口もとが気になって……思い切り笑いたい！
- しゃべりにくい、聞き取りにくいといわれます
- 歯が抜けた！ 放っておいたらいけないの？
- いろんなクラウンがあるみたい。どちらがうの？
- 歯型をとらずにクラウンができるの？
- 歯をあまり削らないブリッジがあるの？
- よくかめて、目立たない部分入れ歯はないですか？
- よく外れるし、痛いんです！ なんとかありませんか？
- インプラントに興味があります
- がんで口の手術をしました。また食べられますか？
- 寝ているときに歯ぎしりしているみたいなんです

うまくかめない、かむと痛い

①「かみ合わせ」ってご存じですか?

かみ合わせってなんですか?

「かみ合わせ」とは、物をかんだときに、上の歯と下の歯がどんなふう 접촉しているかを見たものです。正しいかみ合わせというのは、簡単にいうと「前歯でも奥歯でも、上の歯と下の歯がしっかりと噛み合っていること」といえるでしょう。これはご自身の歯ではもちろん、かぶせ物(クラウン)やブリッジ、入れ歯などの人工の歯でも、とても大切なことです。



正しいかみ合わせは、前から見ても横から見ても、上の歯と下の歯がしっかりと噛み合っています

上下の歯がしっかりと噛み合わず、かみ合わせが安定していないと、ある特定の歯だけが他の歯より早く接触したり、強く当たったりして、歯や歯ぐきに傷がつき、かむと痛みが出ることもあります。

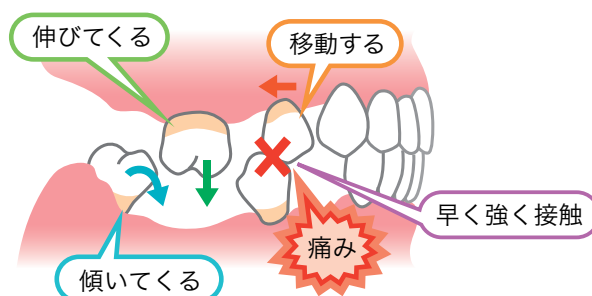
では、どうしてかみ合わせに問題が起こるのでしょうか?

歯を抜けたままにしておく……

かみ合わせが悪くなる原因の一つに、歯が抜けたまま放置しておくことがあります。むし歯や歯周病で歯を失った後に、抜けたまま放っておくといういろいろな問題が起こります。

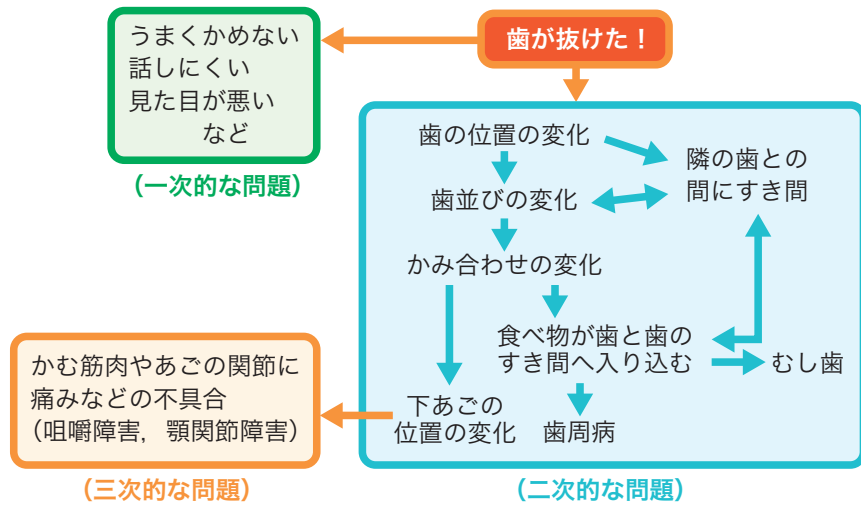
まず、歯がないので、うまくかめない、話しにくい、見た目が悪いなどの問題が起こります。

それから、抜けた歯の隣の歯がすき間に向かって傾いてきたり、抜けた歯とかみ合っていた歯が伸びてきたりすることもあります。このように残った歯が



歯が抜けたままにしておく……

動くと、歯並びが悪くなり、歯みがきがしにくくなって、むし歯や歯周病になりやすくなります。さらにかみ合わせが変わることによって、かむ筋肉やあごの関節に痛みが出たり、かみにくくなることもあります。



さらにさまざまな問題につながることも……

(藍 稔：スタンダードパーシャルデンチャー補綴学，2016 を参考に作成)

うまくかめないのはなぜ？

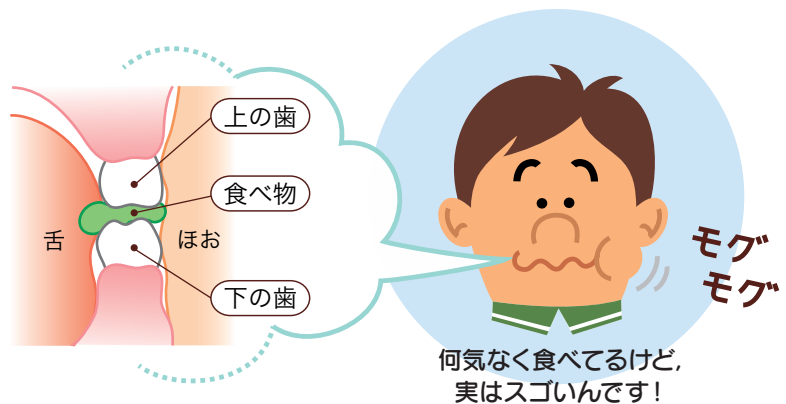
物を食べるときには、まず食べ物を認識し、口の中に取り込みます。そして、唇を閉じて、硬さや味を感じながら、上下の歯がしっかりと噛み合うことで食べ物をかみつぶし、唾液と混ぜ合わせ、飲み込みやすい軟らかく小さなかたまり（食塊）をつくります。

このときに働くのは歯だけではありません。下あごがしっかり閉じて、舌やほお、唇などの筋肉が、食べ物が歯列からこぼれ落ちないように協調して働きます。

食塊は、舌によって口の奥のほうへと移動し、のどから食道へと飲み込まれます。

このように、私たちが普段何気なく行っている「食べる」という行為は、実は口や口のまわりの筋肉、あごなどがお互いに協調し合っている、とても複雑な運動なのです。そして、かみ合わせはこの運動にとっても大きな影響を与えています。

歯を失ったままにしておくと、しっかりとしたかみ合わせができなくなり、かんだり飲み込んだりすることが難しくなります。そうするとおいしく食べられなくなり、食が細り、十分な栄養もとれなくなってしまいます。つまり口の中だけでなく全身の健康にも悪い影響を及ぼすことになるのです。しっかりとしたかみ合わせは、全身の健康にもたいへん重要です。



(横山敦郎)

しゃべりにくい、 聞き取りにくいと言われます

こんなことはないですか?

● 歯が抜けたまま放置している

前歯がないとそこから空気がもれてしゃべりにくくなる、というのはわかりやすいと思いますが、奥歯でも抜けたままにしていると、同じようにそこから空気がもれて、聞き取りにくくなることがあります。

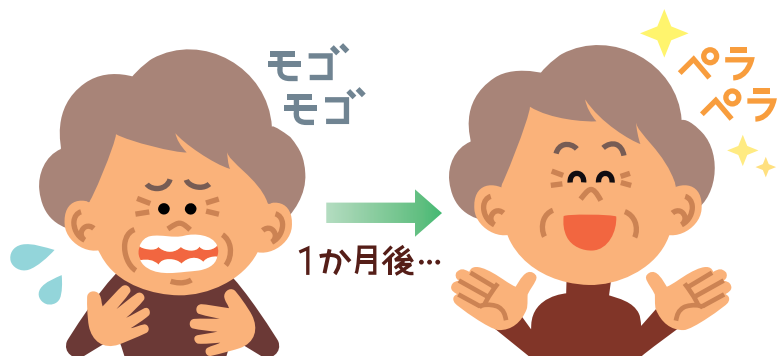


歯がないとそこから空気がもれてしゃべりにくくなります

● 入れ歯を初めて使う、新しく入れ歯をつくり直した

まず、新しい入れ歯を入れると口の中の環境が変わりますので、多少しゃべりづらくなります。それでもだいたい1か月程度で慣れて、ふつうにしゃべれるようになってきます。

また、しゃべるときには上あごと舌が適度に接触しますが、入れ歯は、食べるときに安定するように、ふつうは上あごなども覆うようにつくられます。そうすると、入れ歯の形や厚さなどによっては、食べるときは快適でも、しゃべったときに必要以上に上の入れ歯に舌が当たってうまく発音ができない場合があります。もし、新しい入れ歯を入れて1か月以上たっても、日常の会話に支障があるような場合は、歯科医院で相談してみることをおすすめします。



うまくしゃべれない, その他の原因

唾液が出にくくなっていると、口の中が乾燥して舌がスムーズに動かないため、しゃべりにくくなります。唾液が出にくくなる原因としては、加齢や薬の副作用などが考えられます。

また、うまくしゃべれなくなる原因として、脳卒中などの病気も考えられます。一刻を争う場合もありますので、入れ歯が原因と考えられない場合は、早めに病院にかかるようにしてください。



口の中や舌が乾燥していませんか？



お口の問題？ それとも別の病気？

どんな治療をしますか？

● 抜けた歯の代わりにブリッジや入れ歯を入れる

歯を抜けたまま放置していると、空気もれてうまくしゃべることができなくなります。歯が抜けてしまった場合は、放置せずに治療しましょう。

● 発音の検査をして入れ歯を調整する

新しい入れ歯を入れてから1か月以上たってもうまくしゃべれず、日常の会話に支障がある場合などは、発音の検査を行います。そして入れ歯の適切な形や厚さをチェックした後、必要に応じて入れ歯を調整します。

(大川周治)



発音の簡単なチェック

発音の検査でよく使われるのが「サ」「タ」「カ」「ラ」です。「咲いた、咲いた、桜が咲いた」としゃべってもらって、簡単にしゃべりにくさを調べることができます。

いろんなクラウンがあるみたい。 どっちがうの？

クラウン

クラウンってなんですか？

歯は歯ぐきの上に出ている頭の部分（歯冠）と歯ぐきの下で骨の中にある根の部分（歯根）とに分けられます。歯冠に大きなむし歯ができたり、転倒などで歯冠が折れてしまっても、根がしっかりしていれば、かぶせ物（クラウン）の治療が受けられます。

クラウンをする目的は、歯を元の形に戻して、しっかりかんで食べられるようにすること、そして、元のように、あるいはよりよい見た目に改善することです。

どんな治療をしますか？

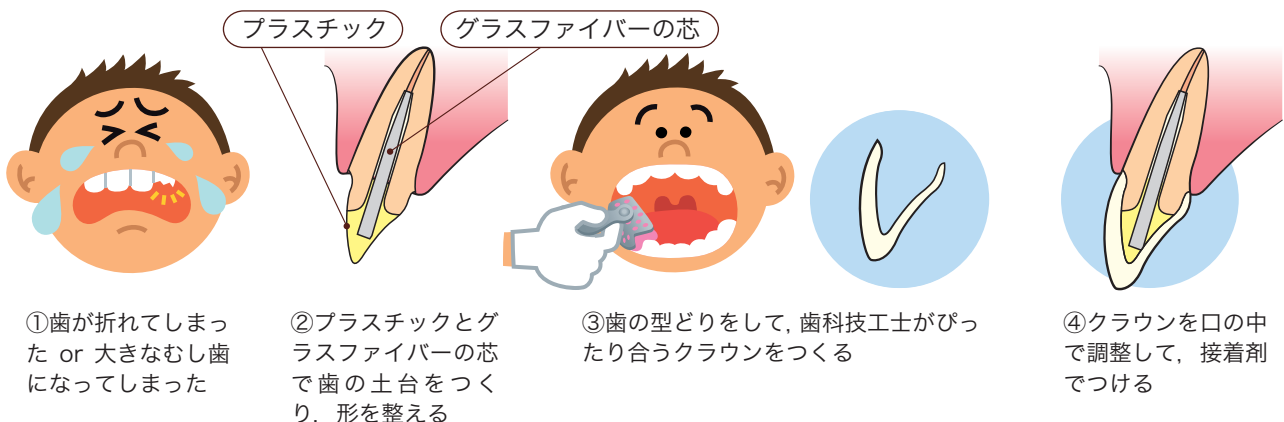
● 歯の土台をつくります

神経のある歯は、なくなってしまった部分を、歯にくっつくプラスチック（「コンポジットレジン」といいます）で埋めて、形を整えます。

神経を取って根の治療をした歯も、残っている歯が多ければプラスチックで埋めます。ただし、補強のため、金属やグラスファイバーでできた芯（「ファイバーポスト」といいます）を入れます。残っている歯が少ない場合は、根の中を削って金属の土台を装着します。

このようにして、歯の土台をつくることを「支台築造」といいます。

なお、金合金を使用した「支台築造」以外は、保険治療で行うことができます。ただし、後で装着するクラウンが保険外治療（自費治療）である場合は、「支台築造」も自費治療となります。



クラウンの治療の流れの例